

バイオテクノロジー戦略の実施状況に係る意見

女子栄養大学出版部
三保谷智子

大綱の戦略3「国民理解の徹底浸透」に関しては、具体的な計画や実施内容が見えにくいようです。

<科学技術の発展を、毎日の生活にどう取り入れていくか>は、自然科学現象、生命現象への畏敬の念、興味・関心を現代人の教養として身につけておくことが肝要でしょう。

長い目で見れば幼児期、学齢期、高校・大学の時期に子どもたちをどう教育し、導くかに方策はあると思います。

すでに社会人となっている人々には、科学的根拠のある正確な情報の提供が不可欠です。残念ながら、今あふれるほどある健康・食情報は興味本位あるいは視聴率や売り上げを伸ばす目的であったりします。

この度、9月から改正健康増進法によって、根拠が乏しい健康食品等の広告が禁止になるようですが、その成果が早くあらわれ、情報に振り回されている人々の悩みが解決されることを願っています。

ところで、メディアは大衆の心理をつかむことにたけています。その手法を国の政策や国民への情報提供にも生かすことでより具体的で説得力のある情報の組み立てが可能になるでしょう。さらに情報は、ある1つの機能性成分だけを取り上げるのではない、「じゃあ、私の生活はどうしたらいいか」の疑問に回答が得られるもの、即、生活の全体像がわかるようなものでなければなりません。これらの情報の整理役、適切な伝達方法の研究、人材の養成等が求められるところでしょう。

以上